



平成25年5月16日(木)実施

## 「第2回学級経営充実講座」～学級集団育成の進め方 理論編～

講師 高知大学 鹿嶋 真弓 准教授

### 自律を支援し学級を育てる —「指導」の中に「育てる視点を」—

- (1) 自律を促進する学級育成のための目のつけ所 → 「指導」の中に「育てる」視点をもつ
- (2) 成長の変化を楽しむ → 子どもが望ましい行動をする少し前に気づく
- (3) 転んでもただでは起きない → 失敗するから成長する

#### 自律を支援

児童・生徒が悩んだときが、成長のチャンス。教師側が答えを出すことで、子ども自身が成長する芽を摘まない。



子どもが自分自身で解決できるよう支援する。



問題の所有者を明らかにし、問題を解決していくための効果的な方法とは、『聴く』『話す』

Q. 問題と思っているのは誰ですか？

☆具体例

子どもが入試に失敗して落ち込んでいる。  
子どもが友達とケンカして泣いている。  
あなたの赤ちゃんが予防接種のときに泣く。

子どもがピアノを習っていて、新しい課題曲を聴いてほしいと言っている。  
子どもが夫と楽しそうに釣りに出かけた。

子どもが夜遅くに食事をするのでいっように片付かない。  
子どもがよく寝坊して電車に乗り遅れ、あなたに「車で学校まで送って。」と頼む。

#### 行動の四角形

相手(子ども)が問題をもつ領域

問題なしの領域

自分(教師)が問題をもつ領域

受容線

#### 『聴く』

問題と感じているのが相手(子ども)の場合。  
子どもが自分でできるように、教師が助ける方法。

この領域に入れば両者にとって良い状態。  
学習効果も高まる。この領域を広げる。

#### 『話す』

問題と感じているのが自分(教師)の場合。  
その問題を教師が積極的に解決していく方法。

# コミュニケーションの障害になる12の型（子どもが拒否してしまう12の型）

- |             |             |
|-------------|-------------|
| ① 命令(指示)    | ⑦ 同意(賞賛)    |
| ② 脅迫(注意)    | ⑧ ばかにする(屈辱) |
| ③ 説教(訓戒)    | ⑨ 分析(解釈・診断) |
| ④ 提案(忠告)    | ⑩ 同情(激励)    |
| ⑤ 講義(論理の展開) | ⑪ 尋問(探り)    |
| ⑥ 非難(反対・批判) | ⑫ ごまかす(冗談)  |

## ロールプレイ演習

子ども：「学校なんか嫌い！行きたくない！」

- 親：①「文句ばかり言わないで、行きなさい！」（命令）  
②「立派な大人になれないわよ。それはあなたのためなのよ。」（脅迫）  
③「学校に行って、勉強するのがあなたの仕事でしょ。」（説教）

## 子どもが悩みを相談してきたときの、受動的な聴き方（4つの方法）、能動的な聴き方（3つの方法）

### 受動的な聴き方（4つの方法）

#### (1) 沈黙

- (+)・・・ 子どもが考えているときなど、意味のある沈黙に対しては待つ。「話せるようになったら話していいよ。」  
(-)・・・ 待ちすぎると子どもが不安を感じてしまう場合がある。

#### (2) あいづち

- (+)・・・ 「そうなんだ、なるほどね。」先生に受け止めてもらっていると感じる。  
(-)・・・ 先生は本当に分かっているのかな、不安に感じてしまう場合がある。

#### (3) うながし

- (+)・・・ 先生が気持ちを分かってくれていると感じる。「そういうふうを考えていたんだね。」  
(-)・・・ 自分ばかり話して先生の考えがわからない。と感じてしまう場合がある。

#### (4) 能動的な聴き方(理想的な聴き方)

### ポイント【能動的聴き方】（3つの方法）

- |          |              |
|----------|--------------|
| ① 繰り返す   | →オウム返し       |
| ② 言いかえる  | →意味をフィードバック  |
| ③ 気持ちをくむ | →気持ちをフィードバック |

最近変わったことない？

いじめられたの・・・



### 具体例

子ども：「〇〇ちゃんに、いじめられたの・・・」

先生：「嫌なことをされたんだね。」 ⇒ポイント①②(共通の意味を違う言葉に言い換えて繰り返す)

先生：「悲しいんだね。」

子ども：「うん！悔しいの！！」

先生：「そうか、悔しかったんだね。」 ⇒ポイント③(子どもの感情と違った場合は、仕切りなおす)

子どもの言葉を繰り返し、言いかえながら、お互いの理解のズレを修正し、気持ちを理解していく。答えを提示するのではなく、子どもが答えにたどり着くように『聴く』。最終的に自分で解決していく力を養っていくことが大事。

### 【受講者の感想】

- 能動的な3つの聞き方を学べて良かったです。生徒たち自身が自律して考え、行動できるように成長を助けていこうとする視点が学べて良かったです。教室の中では教師の視点で生徒を責めたりして対応の仕方1つで生徒との関係を悪くしていることが、多数あるかも知れません。生徒の自己肯定感を下げない対応を学んでいきたいと思います。
- 自分が普段何気なく生徒と交わっている会話や、指導の言葉を分析的に振り返ることができ、発見が多くありました。能動的な3つの聞き方をベースに信頼関係に基づいた声かけができるようになれば、と思います。
- 生徒に対しても我が子に対しても同じ職場の先生に対しても、言葉がけ1つで気持ちが変わったり上手いったりするということを学びました。コミュニケーションの障害になる12の型について考えながら、言葉や態度を選んでみようと思います。